

朝日新聞

2006年(平成18年)10月31日 火曜日

南の島で「英語留学を」

南太平洋の島フィジーに留学して英語を勉強できる学校を、新宿区の谷口浩さん(34)が開いた。会社を設立し学校を直接運営することで、留学費用を年100万円以下に抑えた。05年に開校し、全国から女性を中心に既に約600人が参加している。現地での教員採用や空き教室の活用がフィジー政府にも評価され、9月に2校目を開校した。

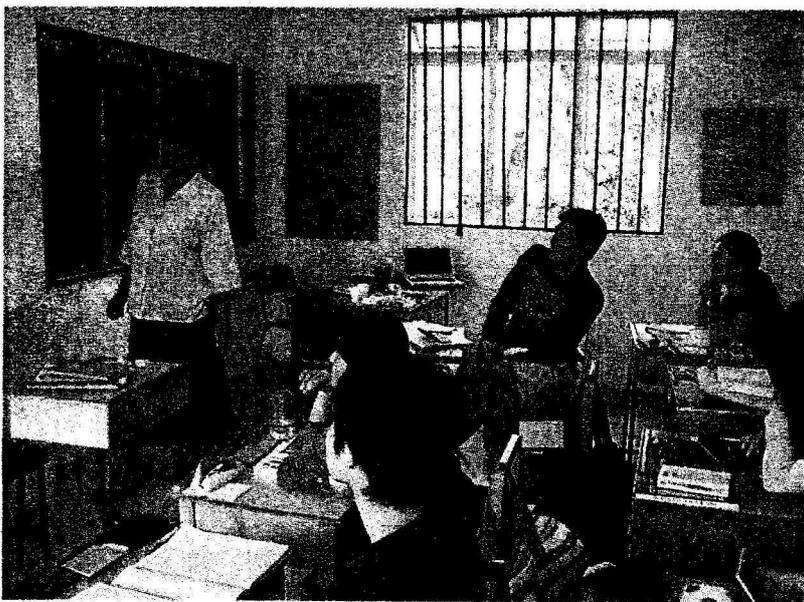
フィジーに語学学校 新宿の谷口さん

フィジーは、日本から飛行機で約8時間半の南太平洋にある。旧英国領で、公用語は英語だ。

谷口さんはビジネスコンサルタントをしていた03年、休暇で訪れた。「パスを待っていると、地元の人と話しかけてくる。1週間の滞在で10年分の友達ができた感じ」。人々の気さくな人柄に引かれ、「こんな所に英語学校があったらいい」と思った。

帰国の際、空港にいた人に尋ねた。「どうやってら学校をつくれるか」。すると、「学校の先生を知っている」と紹介してくれた。先生から旅行省の職員へとトントン拍子に話が進み、1年後、フィジー政府に提案書を出した。

空き教室活用 2校目も



空き教室を使って行われている授業の様子
＝サウスパシフィックフリーバード社提供

がり、小学校や幼稚園の空き教室が増える一方、教員の就職先も減っている。そ

教員は現地で採用

こで谷口さんは空き教室を使い、教員を雇用して留学生向けの語学学校を開校することを考えた。

提案書はフィジー政府に認められ、谷口さんは04年3月、資本金1千万円で「サウスパシフィックフリーバード」社(新宿区)を設立。翌05年、1校目を開校した。

最初は3人だった参加者も06年1月には約100人になり、年内には700、800人を日本から送り出す予定という。

留学費用は宿泊費込みで2週間6万9800円、12

新潟市の大学3年生井上奈緒子さん(20)は9月に3週間留学した。昨夏滞在した英国での費用は1カ月約50万円。「あまりお金をか

けずに楽しく勉強したい」と選び、費用は約9万円だった。「ちょっとなまりはあるけど、言葉を複数話す土地柄だけあって、『文法間違っているかな?』とあまり心配せず、楽しく話せた」と話す。

「英語を学ぶことって、やりがいのある仕事として、へきかけにしてほしい」。谷口さんは、そう期待している。

11月12日午後1時半からは、千代田区の東京国際フォーラムで留学説明会を開く。

問い合わせは同社(0120・5559・2221)へ。